



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第136号 2013年7月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成25年6月26日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

メンテナンス

国土交通省の審議会が「メンテナンス政策元年」と題した報告書を5月にまとめました。最近特に頻発している老朽化が原因と思われるインフラの事故を防止することを目的としています。なるべく早く異変に気づき、報告をして、適切なメンテナンスをすることがとても重要です。これは、住まいも同じことで、生活の場、くろぎの場である住まいで、快適に安心して暮らせることは誰もが望んでいるところです。住まいは放っておいた場合は当然のことながら、生活していくうちに確実に老化し、さまざまな障害が生じてきます。こまめに点検をしてお手入れをすることにより、住まいの老化を遅らせ、結果として住まいを長持ちさせることになります。適切なメンテナンスを心掛けください。

昭和54年の新築工事以来、住宅設備のメンテナンスや外装工事を担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回は、木製引戸と木製雨戸から雨戸とセットになったサッシに交換する工事です。外壁の補修が最小限になるように既存の窓枠を丁寧に解体し、補強しながら再利用し、既存の外壁の色に合わせて塗装で仕上げました。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

電動の雨戸シャッターもご提案したので、庭の景色を楽しみたいということで、雨戸とサッシの一体型のタイプになりました。

「朝夕の雨戸の開け閉めが楽になりました。」というご感想をいただきました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォアー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



室内側は、無垢のスギでを使い、窓枠を飾り、和室の趣きを壊さないように仕上げた

SUMMER FES.

熱いぞ追浜！！

おっばまつり2013が7月14日(日)、11:00～18:00 追浜銀座通り商店街(京急追浜駅前)で開催されます。横浜インスパイヤーズのパレードで始まり、民謡踊り、日産和知太鼓、沖縄エイサー、リオ・カーニバル、路上ライブ、おっばまソーランなどのパフォーマンスが歩行者天国で展開されます。また、追浜地区の各町内会のお神輿や山車が勢揃いします。



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. Next50
創刊 2002.4.1.

ざっくばらん
雑句芭欄

アノバチコノバチ
思い当たる
バチがいっぱい
それでもまだ
それがわたしを
天がわたしを
生かしてくる
みつを

2013年は、2012年に引き続き、相田みつを氏の詩を取り上げます。書の道で迷い苦しむ日々の中で、仏像との対話から生まれた言葉の数々を集めた「かんのん讃歌」を中心にお届けします。



(相田みつを「かんのん讃歌」より抜粋)

クイズ
問 眩只和

勝手に MEWLAND検定

2013年は三方を海に囲まれた自然豊かな三浦半島(MEWLAND)に関する問題を20問設問します。成績優秀者にはMEWLAND検定合格者として勝手に認定します。

(答えは裏面に記載しています。)

(問題10) 戦前は旧日本海軍の下士官兵集会所で、米軍による接收後は、改修されたダンスホールで、渡辺貞夫や原信夫などのジャズミュージシャンが巣立った、京急汐入駅前の現在のよこすか芸術劇場がある場所にかつてあった施設の名称は？

- (ア)CMクラブ
- (イ)EMクラブ
- (ウ)FMクラブ
- (エ)GMクラブ



「天が私に与えてくれた使命」〈3〉（全三話）

江戸時代から続く浦賀の老舗書店、金文堂信濃屋書店の七代目にあたり、郷土史家として活躍されている山本詔一氏に横須賀にゆかりのある、まだあまり知られていない偉人を取り上げていただきました。（最終話）

大正12（1923）年9月1日に起こった関東大震災は、横須賀の海軍施設も大きな被害を受けた。この中には、横須賀の海軍基地の中核である鎮守府の建物もあった。海軍は新庁舎の再建をしたが、この工事を請け負ったのが市内の馬淵組であった。現在もアメリカ海軍の司令部として使用されているこの建物、大正15年3月11日に起工、10月15日に竣工している。鉄骨・鉄筋コンクリート3階建て、総建坪675坪、耐震工事を施した建物をわずか7か月で完成させた。驚異的な速さである。ここから「突貫の馬淵」の異名をとった。

馬淵組が横須賀で誕生したのは明治42（1909）年のことで、創業者は馬淵曜（まぶち・あきら）であった。事業の発展とともに馬淵自身も財力を得たが、馬淵はこの私財を社会事業や教育事業に費やした。そのきっかけは、昭和天皇の御大典記念事業として、日の出町の埋め立て地に児童公園を造る予定で、大阪、名古屋方面を視察していた途中、名古屋市盲啞学校に立ち寄り、聴覚障害を持つ子どもたちの授業に感動した。考えてみると横須賀には聾啞（ろうあ）学校はなく、障害を持つ子どもたちに適切な教育機会がないことに気がついた。すべての人が希望していながら、誰もやろうとしない事業こそが、天が私に与えてくれた使命であると考えた。馬淵は横須賀に聾啞学校を造ることを決心した。

昭和5（1930）年、衣笠村小矢部の丘に、窓の大きい明るい近代的な学校が出来上がり、馬淵聾啞学校と称した。

昭和6年、ニューヨークで世界盲人社会事業会議が開催され、この会議に日本の代表の一人として参加した馬淵は、「奇跡の人」と言われたヘレン・ケラー女史の講演を聞き、深い感銘をうけた。そのヘレン・ケラー女史が来日した昭和12年、横須賀の下士官・兵集会所（戦後はEMクラブと呼ばれた）でも講演会があり、障害を持つ人々は勇気づけられ、感動を与えた。この講演会の仕掛け人も馬淵であった。

（完）



正門前の馬淵夫妻の像

横須賀市立ろう学校のおいたち

- 1929年 馬淵聾啞学校として横須賀市小矢部に開校
- 1937年 ヘレンケラー女史来校
- 1953年 横須賀市に移管、横須賀市ろう学校となる
- 1975年 現、横須賀市森崎に校舎新築移転、現在に至る（ホームページより抜粋）

ヘレン・アダムズ・ケラー

アメリカの盲聾の著述家、社会福祉活動家。世界各地を歴訪し、身体障害者の教育・福祉に尽くした

（横須賀開国史研究会 会長 山本詔一）

勝手にMEWLAND検定の答え（問題10）(イ)

その木、どこの木？

木材利用ポイント制度は、地域材の適切な利用により、森林の適正な整備・保全、地球温暖化防止および循環型社会の形成に貢献し、農山漁村地域の振興に資することを目的としています。地域材を活用した木造住宅の新築等、内装・外装の木質化工事、木材製品等の購入の際に、木材利用ポイントを付与し、地域の農林水産品等と交換できる制度で、対象となるのは、地域材を基準以上使用することなどの条件を満たすものです。

- (1) 木造住宅の新築・増築又は購入
- (2) 住宅の床、内壁及び外壁の木質化工事
- (3) 木材製品、木質ペレットストーブ等の購入

また、木材利用ポイントは、1ポイント1円相当で、地域の農林水産品等、農山漁村地域における体験型旅行、商品券、森林づくり・木づかい活動に対する寄附、被災地に対する寄付に交換及び即時交換を行うことができます。

以前に国土交通省で実施された「住宅エコポイント」の林野庁バージョンです。

（林野庁のホームページより抜粋）



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2013」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索